

いま早急に求められる安全対策

現場調査用システムを使った点検のご提案

防災対策 維持管理

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震による塀の倒壊被害を受け、現在国土交通省は学校設置者への安全点検、また一般の建築物も対象に、注意喚起を行うべく取り組みを始めています。特に通学路などを優先するなど、自治体が公共施設だけでなく私有地への是正も求めていく動きが出ています。



ブロック塀の緊急調査！！ タブレットの効果とは？

オフラインで利用できるから**固定費**いらず！

GPSを頼りに業務が進められるから、**アルバイト**でも業務が進められる！

かんたん**タップ**で**選択**だから調査結果の**精度**が均一化される！

複数人での調査にも耐えられる！

データ整理の作業が減るから**迅速**に結果を報告できて、**緊急時**にも役立つ！



Q. 地図データはどうしたらいいの？

A. 国土地理院のオープンデータを利用するため、図面の費用もかかりません。
点検データはExcelのリストや帳票で出力できます。

Q. 専用のソフトは買えない！

A. 調査票の切り替えが行えるため、ブロック塀の調査と密接な通学路や空家調査など他の点検業務にも活用でき、ソフトが無駄になりません。

以下の基準に対応しています！
(平成30年6月現在)

- 平成30年6月21日報道発表
「ブロック塀点検チェックポイント」
(国土交通省)
- 「あんしんなブロック塀をめざして」
ブロック塀の診断カルテ

(編：社団法人 日本建築学会 材料施工委員会 組積工事運営委員会 ブロック塀システム研究小委員会)

タブレット利用イメージ

点検

現在地を把握

ブロック塀の位置
をタップ！

点検項目を
タップで選択

状態の
写真撮影

システムイメージ

ブロック塀の位置を
地図上にタップで登録！

分布も確認できる

項目	内容
① 建築後の年数	
② 高さの増し積み	なし
③ 使用状況	単独
④ 塀の位置	塀の下に擁壁なし
⑤ 塀の高さ	1.2m超、2.2m以下
⑥ 塀の厚さ	15cm以上
⑦ 透かしブロック	なし
⑧ 鉄筋	確認不能
⑨ 控え壁	未調査
⑩ かさ木	未調査

写真は自動で振り
分けて保存します

点検後

入力内容の
確認

Excelの帳票
を作成

※お使いのExcelの帳票に対応できます。

※自治体独自の項目にも対応可能です、お問い合わせください。

第一段階の点検後は・・・

外観点検で問題が発見された場合、専門家の協力を得て、補修方法を検討していく必要があります。また将来的に、現在問題のないブロック塀の老朽化を考慮した対策も課題になります。そのためには、第一段階で把握した外観目視による点検結果やその分布をデータで管理することが有効です。

データ化のメリット

- ▶ 日常業務の中でデータを蓄積し、分析に使える
- ▶ イザ！というときに「劣化しない」「すぐに受け渡しが可能」
「ほしいところだけ抜き出せる」「検索・参照・集計ができる」

※MS-Excelは米国Microsoft Corporationの登録商標です

お問い合わせ

株式会社マップコン 東京都中央区入船3-1-13

104-0042

TEL
MAIL

03-3523-4640

eigyo@mapcom.co.jp 担当：堀